

GO BEYOND

プロジェクト活動レポート

滋賀県立伊香高等学校

滋賀県長浜市木之本町木之本251

TEL: 0749-82-4141



ホームページ



Instagram

2024.06.01

第5号

伊香高生や高校に関する最新の活動をお届けします！



1 新学科「森の探究科」のプレ授業が始まっています

■新学科「森の探究科」とは？

伊香高校では令和7年度に、滋賀県北部地域の豊かな自然環境、森林資源などを活用し「森で学ぶ」をコンセプトに、生徒の「生きる力」を地域とともに育む「森の探究科」を開設します。

森の探究科では、4つの学校設定科目を通して、森林の多面的な役割を理解します。琵琶湖に根ざした暮らしや、人と自然が共存する循環型社会の構築に資する人材育成を行っていきます。

新学科
コンセプト

「森で学ぶ」
生徒の「生きる力」を育む

4つの
学校設定科目

森のキホン
(1年生 2単位)

持続可能社会
(2年生 2単位)

森の恵み
(2年生 2単位)

森の未来創造
(3年生 4単位)

■地域の専門家を講師にお迎えしています

来年度の新学科開設に向け、今年度も引き続き地域の専門家の方々にご協力いただきながら、カリキュラム検討を進めています。特色クラス自然環境コース 環境Ⅰ、Ⅱの授業にて、今学期も様々な授業を行ってきました。

【今学期に行ったプレ授業】

- ・野神の森、校内での樹木調査
- ・伊香地域の森林文化と伊香高の歴史
- ・地域の食材(ジビエ・山菜)を使った調理実習
- ・山門水源の森での樹木・土壌調査
- ・森の文化を学ぶⅠ(養蚕|大音の糸取り)
- ・森の文化を学ぶⅡ(養蜂|余呉の栃の蜜)

今年度の実践を基に、新学科がより良いものになるよう検討を続けていきたいと思っています。引き続きご注目頂ければ幸いです。

2

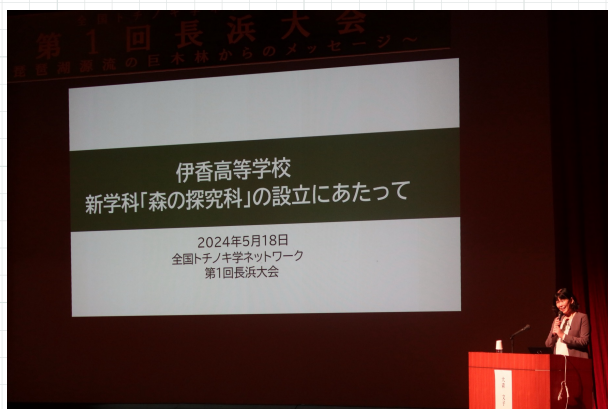
木之本自治会様より桜の苗木を頂き、植樹を実施



木之本自治会様より、桜の苗木を頂き、植樹を行いました。伊香森林組合の方々にご指導頂きながら、自然環境コースの有志のメンバーが本校3号館の土手に植樹しました。この春、伊香高に咲いた桜も数十年前にどなたかが植樹されたもの。過去を思いやり、未来にバトンを渡すことを体現する時間となりました。

3

全国トチノキ学ネットワークに登壇！



株式会社モンベル会長の辰野勇氏をはじめ様々な森林の専門家が登壇した全国トチノキ学ネットワーク第1回長浜大会。「トチノキ」をキーワードに、日本各地から専門家の方々が木之本スティックホールに集まりました。森林生態系の保全に向けた教育分野からの取り組みの一例として、伊香高校が開発中の新学科カリキュラムやプレ授業を紹介しました。

全国から参加された専門家の方々の講演を通じて、湖北の森林の可能性や課題を知ることができ、カリキュラム検討のヒントを得る貴重な機会となりました。

4

今年度から新しいコーディネーターを迎えました



伊香高校では、令和4年度より地域連携コーディネーターを配置し、地域資源を生かしたカリキュラムの検討やコンソーシアムの立ち上げ、探究の授業の実施などを地域と協働しながら進めています。

今年度から「やまのこ」の実習指導員やサポーターのご経験があり、森林環境学習に精通している伊藤利恵さんが新しくコーディネーターとして就任しました。伊藤さんは、新学科カリキュラムの検討やプレ授業の実施に関わり、地域と連携した実践的な学びの場づくりが加速しています。

5

地域文化コースの授業で北国街道を散策しました



特色クラス・地域文化コースでは、歴史豊かな地元に密着した講座を設け、地域の文化やまちづくりについて学習しています。5月には、2年生の授業で北国街道を散策しました。北国街道と宿場町の成り立ちについて学習した後、実際に街に繰り出し、街道の魅力とその歴史を地域の方々に解説していただきました。通学路にもなっている北国街道。今回の授業を踏まえて新たな視点で見ることができそうです。ご協力いただいた地域の皆さま、ありがとうございました！

【お世話になった地域の方々】

- ・木之本地蔵院さま
- ・江州木之本 馬宿平四郎さま
- ・江北図書館さま
- ・白木屋醤油店さま
- ・富田酒造有限会社さま
- ・山路酒造有限会社さま

(順不同)

次回

新学科「森の探究科」のカリキュラム検討も大詰め。どうすれば、新学科の魅力を中学生に伝えることができるか？様々な方にご協力いただきながらPR活動を行っています。引き続き応援のほど、よろしくお願いいたします！